



実社会は 苦勞の毎日

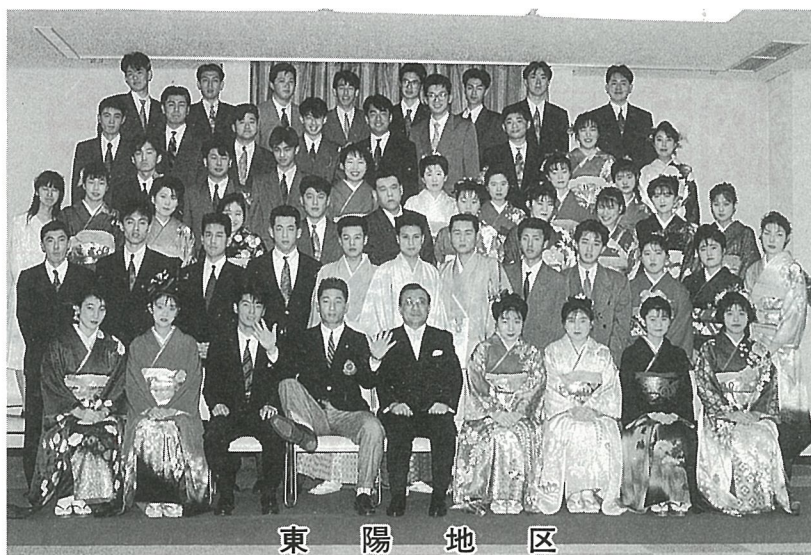
埼玉県宮内庁勤務
椎名 俊満
 (五ノ神)

私は高校を卒業すると、直ぐに就職しました。

就職先は宮内庁式部職で、来客の接待などに従事してます。この職場での2年間は先輩の方々の指導で毎日頑張ってきました。

学園の温室育ちから実社会のきびしさの転換は苦勞の毎日でした。

15日、輝かしい成人の日を迎えて心も新たに第2の人生の第一歩を踏み出しました。



東陽地区



白浜地区



地域の 人々の力に なりたい

国保小見川総合病院付
 看護専門学校
大木 尚美
 (西高野)

看護専門学校へ入学しはや2年。色々な事を学びました。約1年間にわたる病院実習では、患者を受持つ事で人間の生命を預かる責任の重さと生命の尊さを再認識し、また、患者は誰しも不安を持っていることがわかりました。

4月からいよいよ病院勤務です。幼い頃からの夢が叶います。私の目指す看護婦は技術が適確に行える事はもちろんですが、それぞれの患者さんの不安に目を向けて、人間性のある温かい看護を行うことです。地域の人々の力になれるよう一日も早く一人前の看護婦になりたいと思います。

新成人になられて、いかがですか。心からお祝いを申し上げます。



4組担任
 (3年当時)
関 和夫先生
 旭二中
 (現在)

期待し、応援します

上げます。社会人として活躍している人、学生として頑張っている人様々でしょうが、20歳の重さを感じられると思います。21世紀を担っていくのはあなた方です。大きな期待をし、また応援したいと思います。



3組担任
 (3年当時)
臼井真吾先生
 銚子三中
 (現在)

自己の責任を果たして

成人おめでとうございます。時のたつものは早いもので、

卒業してから5年の月日が経ったのですね。君たちもそれぞれの道に進まれ、頑張っていることと思います。これからは、一人前の大人としてさらに精進し、自己の責任を果たしていくってください。幸多きことをお祈り致します。